

第353回大阪大学臨床栄養研究会（CNC）

日時：平成27年1月19日（月） 18:00—19:00

場所：大阪大学医学部講義棟2階B講堂（吹田市山田丘2-2）

「グルタミンの臨床応用」— 抗がん剤、放射線治療に合併する口腔 粘膜障害におけるグルタミンの投与効果

神戸学院大学薬学部 臨床薬学部門
辻本 貴江 先生

グルタミンは本来非必須アミノ酸であるが、腸管粘膜細胞にとって、エネルギー産生および蛋白合成には必須のアミノ酸であることより、conditionally essential amino acid と呼ばれている。これまで、短腸症候群や腸管虚血再灌流障害など様々な腸管不全において、グルタミン投与の有用性が実験的にも臨床研究においても報告されてきた。今回、臨床的に重要な課題であり治療に難渋する病態の一つである、「抗がん剤投与に伴う口腔、腸管粘膜障害」を取り上げ、本病態におけるグルタミンの投与効果を明らかにした臨床研究を紹介する。

世話人：小児成育外科学（医学科教育センター）和佐 勝史
E-mail: wasa@pedsurg.med.osaka-u.ac.jp

次回、第354回CNCは、大藺恵一先生のお世話で平成27年2月9日開催予定です。